

になる所が続出。職員総出で採取。

○年○月○日。各地の水田で稲に被害。

養分過多の霞ヶ浦の水をカンガイするために、水稲に

被害が出る。農民、県に押しかく。再び逆水門論争。

「やっぱり魚だけではすまなかつたわ」。

○年○月○日。霞ヶ浦の汚濁原因は何か？

農業、工業、畜産、家庭いずれが主犯かに論争が移る。

補償難航。

○年○月○日。霞ヶ浦、農業用水として落第

○年○月○日。農業用水に浄化装置取付け。

上水道なみに浄化装置を農業用水に取付けることにな

った。しかし小さい農業用水は資金がなく不可能。

○年○月○日。農業用水、井戸水へ転換。

霞ヶ浦からの取水をあきらめ、井戸を掘る水利組合が

続出。井戸屋が引張り瓶になり、ポンプの値段が高くな

る。「井戸を掘ればよいのかしら」。

○年○月○日。井戸の抜湯、飲用水に苦しむ台地では

水田用井戸の増設により、住宅の井戸で枯れるものが出

現。

○年○月○日。水田からハス田へ。

ハス田の面積は一挙に○倍になり、ハスは大增産とな

○年○月○日。霞ヶ浦水道、赤字で悲鳴。

汚濁の進行に伴い浄化のための薬品費がウナギ上り。

県知事はあくまでも援助する。但し若干の値上げはあり

うると言明。

○年○月○日。取水塔移転。

薬品を多量に使用したり井戸水で薄めてやりくりして

いた水道も危くなり、新たに取水塔を湖心に移して、き

れいな水を取水することになった。これで当分大丈夫と

県は言明。

○年○月○日。水道、霞ヶ浦取水大幅減。

湖心の水も汚濁が進み、遂に井戸水主体に切りかえる。

「漁業、農業、水道、次は一体どうなるのかしら」。

○年○月○日。霞ヶ浦から悪臭。

夕方になると霞ヶ浦から風によって悪臭が周辺一帯に

ただよう。窓を閉め切るためにクーラーの売れゆき伸び

る。

○年○月○日。井戸水抜湯、飲用水に危機。

霞ヶ浦を水源としていた農業や水道が井戸水へ切り換

えたことにより、地下水位が低下して個人住宅の浅井戸

は水が出なくなる。一部地域では給水車出動。

○年○月○日。井戸を争って深く掘る。井戸掘り代が

馬鹿値を呼ぶ。